



地域に社会に、そして世界に向けて発信。環境という舞台で発揮される“女子力”に注目!

環境問題について早い時期から声を上げてきた女性たち。今、第一線で活躍する彼女たちは何を考え、どう行動しているのか、地球環境基金が助成している団体に、現場の声を伺いました。

各地の市民団体や電力会社、企業などでパワフルな女性が増えています。

再生エネルギーの小規模な電力会社を支えるのは消費者の声

Voice 04

事務局
吉田明子さん
(FoE Japan)



パワーシフトキャンペーン運営委員会

<http://power-shift.org/>

活動名

パワーシフト～電力小売自由化に向けた再エネ選択促進

プロジェクト概要

パワーシフトは、「再生可能エネルギーを重視する電力会社を選ぼう」と呼び掛けるキャンペーンです。私たち自身の電気料金というお金の使い道が、将来の社会をつくります。

Q パワーシフトに関する女性の関心は?

生活に密着する問題であること、また3.11以降のエネルギー問題への関心の高まりから、電力会社の選択を具体的に考えていたり、気になっている人が多いと思います。「生協の電力会社や地域の電力会社にすでに乗り換えた!」という方にも出会います。

Q 女性に対して特に訴えたいこと、取り組みは?

電力の自由化=安さ、サービスと思う方が多いのではないのでしょうか。私たちは「安さではない選択」呼び掛けています。なぜなら、安さの追求は持続可能ではない電気を選択につながってしまうからです。選ぶ際は、電力会社の取り組みやビジョンをチェックしてください。



「私たちの選択で、社会を変えよう!」と、イベントなどでアピール

組織としても、出産や子育てへの配慮ができるようになりました。

オーガニックやエシカルを意識した消費行動を促す

Voice 03

代表
岩附由香さん



特定非営利活動法人ACE

<http://acejapan.org/>

活動名

インドのコットン栽培における環境・人権課題および環境に配慮した活動に関する普及啓発活動

プロジェクト概要

インドのコットン生産地の環境問題の改善を目的とし、オーガニックコットンなど環境や人権に配慮した消費やビジネスが日本国内で浸透するよう、環境教育や倫理的な消費の啓発活動を行います。

Q 活動に対して男女による関心の差はありますか?

男女の差はほとんどないと思いますが、私たちが取り組むカカオやコットンの生産現場での児童労働は、女性が好きなおチョコレートやファッションと関連が深いので、女性の方が関心を持ちやすいという側面はあるでしょう。コットン畑での児童労働は少女の方が多く、児童婚や結婚持参金、差別などインド特有の問題もあります。

Q 今後の活動で、特に女性に期待したいことは?

消費という観点からいうと、家庭で使う日々の買い物をするのは女性の方が多いように感じます。女性には「行動する消費者」として、率先してサステナブルな消費を実践していただけたらと考えています。



インドのコットン生産地で、農民に農業使用や健康被害の状況をヒアリング

自分の子どもも農業の未来を担う子どもたちも見守って育てます。

農業や農村の現状を、女性の関心が高いファッションでアピール

Voice 02

理事長
大津愛梨さん



特定非営利活動法人田舎のヒロインズ

<http://inakano-heroine.jp/>

活動名

目覚めよ農家女性! 農家が食べ物もエネルギーも人もつくる社会へ。

プロジェクト概要

次世代育成事業として農家の子女を対象とした合宿を実施。また、農作物もエネルギーもつくれる兼業農家を目指し、ラジオ感覚で聞けるオンライン講座を作成・配信するなど、農業・農村の価値を高めるための情報を発信します。

Q どのような活動体制で臨んでいますか?

現在の役員は40歳以下の現役若手女性農家。緩やかなネットワークとして結成された「田舎のヒロインわくわくネットワーク」を、2014年に団体名・体制を刷新して再出発。農を営む女性が自ら考え行動し、社会に訴えるという意思を受け継ぎながら、世代交代を果たしました。

Q 女性の視点を大切に活動事例は?

農村の「守りたい風景」を題材にした「風景を着るファッションショー」の開催や、家事・育児に忙しい女性が農業をしながら学べる「オンライン講座」の開設があります。また、農家の子どもたちが自主的に農業経営を学べる夏合宿「リトルファーマーズ養成塾」も実施しています。



「風景を着るファッションショー」に参加した、地元の農業科に通う高校生たち。布地に農村の風景がプリントされている

多様なコミュニティの核として女性の活躍に期待

Voice 01

理事・事務局長
福岡真理子さん



一般社団法人あきた地球環境会議

<http://www.cееakita.org/>

活動名

世界へ広がれ! 日本のアクション ~“サバ州” STOP地球温暖化防止センター設立

プロジェクト概要

マレーシア・サバ州において、地球温暖化対策についての加速度的な意識・行動変容の促進を目指し、地球温暖化防止活動推進センターの設置・キックオフ・基盤整備を図ります。

Q 活動主体、あるいは参加における女性の割合は?

法人のスタッフ構成は男性1名・女性4名。参加者の男女比率は、年間平均14件ある事業によって異なります。今回のマレーシア・サバ州でのセンター設置に向けた活動でいえば、参加者の約80%が女性で、明るくアサーティブコミュニケーション[※]を展開しています。

[※] Assertive Communication: 自他共に尊重し合いながら人間関係を築く方法。

Q 活動地・サバ州で期待される女性の役割とは?

多民族・多宗教という複雑な社会構成を持つサバ州。地域の環境教育に関わる教員や環境NGO・NPOスタッフの多くは、イキイキと輝く女性たちです。彼女らが地域の核となり、伝える役割を担って活躍することが、州全体への波及効果を高めると期待しています。



地球温暖化防止授業に参加した生徒たちを目の当たりにすると、未来に多くの可能性を感じる